石切山脈など笠間ツアー～4 年ぶりの校外研修～

研修部　古川光一

　真っ青な空！　起きてみると心配していたお天気はこれ以上ないような朝を迎え、気温も20℃を超えそうなさわやかな気候です。

　千葉駅前の朝の集合では受付も順調に済み、参加会員の皆さんも笑顔です。

3 台のバスは予定より早めにスタート、高速道路は渋滞もなくスムーズで、途中酒々井のきれいな PA に立ち寄りながら、一路笠間路へと進みました。

　最初の立ち寄り場所は、親鸞聖人が教行信証を執筆しながら、東国での布教活動の拠点とした西念寺（稲田御坊）です。深い木立に囲まれた山門は室町後期の建立そのままで、500 年以上を経ている萱葺きの屋根は、まるで私たちを迎えてくれるように真新しく葺き替えられていました。

巨木の「お葉つきイチョウ」ではたくさんの銀杏が落ちており、僧侶の方からいただいた会員もおりました。

150 段の階段を登り、御頂骨堂を参拝された方も多かったです（皆さん健脚！）。

　次の石切山脈（稲田石採石場）は本当にすごい！明治時代から 120 年以上にもわたる採石により巨大な湖が出現し、そのズーッと向こう正面には御影石の大壁が立ちはだかっています。稲田石は国会議事堂や最高裁判所に使われているのですが、この山脈は見どころがいっぱいで、とても書ききれません。

期待していたモンブランは品切れ、注文して食している方のものを、失礼ながら拝見すると、かき氷のように大きくゴージャス、美味しそうです。

ここで記念撮影。良く撮れました。

　ドライブインの昼食はそれなりでしたが、売店は茨城の物産が豊富で特に名産の栗はお買い得のようで、私も一つお土産にしました。

3 番目の茨城県陶芸美術館への道筋は、バス会社の配慮で笠間稲荷の参道（なかなかの風情です）を経由、おかげで開催中の菊花展を見ることができました。

美術館では折よく皇室の三の丸尚蔵館名品展が開催中で、貴重な拝観をすることができました。

美術館の敷地はとても広く、売店でソフトクリームを楽しむ方も見られました。

帰路もスムーズで予定どおり千葉駅前に帰着することができました。

号車によっては歌声などで盛り上がっていたようです

4 年ぶりの校外研修、コロナ第 9 波の懸念などありましたが、そうした心配も吹き飛ばしてくれるような素晴らしいツアーでした。

参加会員の皆様のご協力に感謝するとともに、今後とも学習会の事業を充実させたいと思わせる校外研修となったようです。

関係の皆様ありがとうございました。

稲田御坊　　西念寺